

## 地誌 第3回「中国地誌③ 今後の中国の動向と日本」

○今回のポイント

経済成長著しく経済大国と化す中国に対し、戦略的互惠関係を築こうとしている。

### 世界に広がる中国系住民

#### (1)中国沿海部の移民

- ・フーチエン(【① 福建】)省 } ☆17世紀頃…東南アジアに移住
- ・クワントン(【② 広東】)省 } ☆19世紀頃…アメリカ西岸部やハワイへ移る

世界各地へ  
移住

#### (2)中華系移民の名称

- ・【③ 華僑】…「仮住まいの中国人」の意味。外国で出稼ぎ労働に従事する中国人労働者。
- ・【④ 華人】…国籍を取得し、それぞれの土地に定住するようになった中国系住民。
  - ・成功した人たちが多く、東南アジアでは政治的・社会的な指導力を持つ。
  - ・国境を越えて強いつながりを持ち、貿易・国内流通、投資などで重要な役割。
  - ・cf.【⑤ シンガポール】は中華系移民たちがマレーシアから独立した地域である。

### 日本との交流

#### 1.政治関係

「共通の戦略的利益に立脚した互惠関係」（「戦略的互惠関係」）の構築に努力していくことで一致。

##### (1)「【⑥ 戦略的互惠関係】」の基本精神

日中両国がアジア及び世界に対して厳粛な責任を負うとの認識の下、アジア及び世界に共に貢献する中で、お互い利益を得て共通利益を拡大し、日中関係を発展させること。

##### (2) 2011年の訪中時に、野田総理から、「日中国交正常化40周年に際する日中「戦略的互惠関係」の一層の深化に向けた6つのイニシアティブ」を表明。

- 1) 政治的相互信頼の増進
- 2) 東シナ海を「【⑦ 平和・協力・友好の海】」とするための協力の推進
- 3) 東日本大震災を契機とした日中協力の推進
- 4) 互惠的経済関係のグレードアップ
- 5) 両国国民間の相互理解の増進
- 6) 地域・グローバルな課題に関する対話・協力の強化

#### 2.経済関係

##### (1) 日中貿易（財務省統計に基づく【⑧ 日本貿易振興機構】（JETRO）換算）

###### (イ) 貿易額（2011年）

対中輸出…1,615億ドル

対中輸入…1,835億ドル 計 3,450億ドル

###### (ロ) 主要品目

対中輸出…電気機器、一般機械、【⑨ 化学製品】

対中輸入…電気機器、一般機械、【⑩ 衣類】

##### (2) 日本からの直接投資総額（2011年、中国側統計）…約63.5億ドル

### 3.文化関係・各種交流

#### (1) 人的往来

- ・日本から中国へ約 373 万人 (2010 年中国国家旅遊局統計)
- ・中国から日本へ約 166 万人 (2010 年法務省入国管理局統計)

#### (2) 文化関係

- (ア) 2010 年 5 月, 日中首脳会談で温家宝総理から鳩山総理 (当時) に映像交流に関する提案があり, 首脳間で実施について合意。2011 年に日中映像交流事業「映画, テレビ週間」「[⑪ アニメ・フェスティバル]」を実施した。→『ドラえもん』や『[⑫ ポケモン]』が利用された。
- (イ) 2012 年は, [⑬ 日中国交正常化 40 周年] という記念すべき年であり, 日中両国は, 2012 年を「日中国民交流友好年～新たな出会い, 心の絆～」として, 全面的な国民間交流を推進することで一致した。なお, 1972 年の国交正常化以降, 日中両国は, 節目ごとにこうした周年事業を実施してきた。

#### (3) 青少年交流

- (ア) 「[⑭ 21 世紀東アジア青少年大交流計画]」(JENESYS) (東アジア首脳会議参加国を中心に, 2007 から 2011 年度の 5 年間で毎年約 6,000 名の青少年を日本に招へいするプログラム) を通じて, 中国との間では, 4,000 名を越える規模の青少年交流を実施してきた。
- (イ) 2011 年 12 月の野田総理訪中に併せ, 「日本国外務省と中華人民共和国外交部との間の日中青少年交流活動に関する覚書」の署名が行われ, 2012 年, 日中双方は, 両国青少年の相手国に対する理解を一層増進するため, 5,000 名規模の青少年交流を推進することで一致。

#### ☆[⑮ 世界の工場]

- ・低賃金労働により製造業で優位に立つ国や地域を指して呼ぶ。産業革命を世界最初に成し遂げたイギリス, 19 世紀後半から台頭したアメリカを経て, 20 世紀前半は中国が該当する。世界の工場として, 工業化が果たされると今まで低賃金労働に従事していた労働者たちが豊かな生活を求めて賃上げを要求するようになり労働コストが上がっていく。そのため, 今まで低賃金労働力を目的に集まっていた外資は, より安い地域へと移動することになり, 世界の工場は移りかわっていく。

#### これからの中国

##### (1) 経済成長

- ・2001 年, [⑯ 世界貿易機構] (WTO) へ加盟 → 経済の市場化, 高い成長率
- ・[⑰ BRICs] の一国として政治的な発言力を強める

##### (2) 問題点

- ・農村や内陸部の貧困, 失業問題 / 民族問題 / メディア統制
- ・巨大市場としての中国 → 消費水準の上昇 → 食料, エネルギー, 環境などの面で深刻な国際問題

#### 台湾の発展

- ・1895 年～: 日帝 50 年。植民地政策により鉄道整備によるインフラ, 教育制度の整備など近代化がなされる。
- ・1949 年～: 中国国民党が内戦に敗れ, 台湾に逃れる。中華民国を名乗り資本主義の立場で経済建設。IT 産業に強く [⑱ アジア NIEs] に数えられるほど。「シリコンブルーバード」という二つ名がある。
- ・1972 年～: アメリカの外交政策の転換により非公認とされ, 日本も米国に追随して公的な国交を断絶。しかし, 経済的・文化的には親密な関係にある。中国共産党は主権を否認し, 領土の一部としている。台湾海峡を挟んで経済協力も進むが, 軍事的な対立は根深い。